

農業生産法人 株式会社ゆめファーム

有機農業・環境
保全型農業部門

中国四国農政局長賞

所在地：山口県山口市
応募区分：個別経営の部

面積：7.4ha
構成員：18人
栽培品目：野菜

取組の紹介

【秋川牧園直営の子会社として設立】

- 平成21年に養鶏を中心に畜産・加工の卸売りと戸別宅配を行う株式会社秋川牧園直営の野菜生産を担う子会社として設立。秋川牧園が、昭和51年に山口県有機農業研究会を設立し、小規模で野菜の生産を行っていたが、本格的に自社宅配会員に有機野菜を届けるため法人化し、令和元年には有機JAS取得。現在は年間50品目以上の野菜を農薬・化学肥料を使用せずに生産している。主に宅配会員へ、収穫状況を見ながら、週替わりで栽培した野菜を販売している。

【畜糞を生かした有機野菜作り】

- 親会社である秋川牧園の養鶏・酪農で発生した畜糞を自前の堆肥舎で十分な期間と切り返しにより発酵を促進し、良質な堆肥にすることで化学肥料を使わない循環型の野菜作りを確立している。露地栽培がメインで、14棟のハウス栽培でも加温は一切行わず、環境負荷の少ない栽培方法を行っている。良質な有機野菜の生産を安定的に行うために、苗の生産から自社で取り組むため、苗テラス（人口光閉鎖型苗生産システム）を導入している。

【農産物を活用した地域連携】

- 岩国地区の伝統的な漬物に使用する大根の生産者不足問題への対応として、大根2万本の生産と寒干しを引き受け、地域の伝統産業の継承に貢献している。令和4年度はホップを生産。山口市内の地ビールメーカーと山口市産ホップと県産大麦を使ったビールを製品化。地域経済の活性化と新たな価値の創造に繋げている。
- 自社で製造した畜糞堆肥を地域の農家に無償で支給し、畜糞の有効活用と化学肥料の軽減の普及に繋げている。

【消費者等への情報伝達及び安定出荷の取組】

- SNSを活用して農薬や化学肥料を使用しない野菜づくりについて普及、啓蒙活動を実施し、ふぞろいや多少のキズへの理解を求めることでロスを抑えた販売に取り組んでいる。



自家製堆肥の投入



人口光閉鎖型苗生産システム



加工向け寒干し大根